



## CHAPTER 66

# IME 信頼要素の設定の挿入

IME 信頼要素の設定を Cisco Unified Communications Manager データベースに追加する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

- 要素名、説明、要素タイプ、IME 信頼グループが含まれる CSV データ ファイルが必要です。
- CSV データ ファイルは、CSV 形式に変換した BAT スプレッドシートを使用して作成できます。

### 手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [Intercompany Media Service] > [信頼要素 (Trust Element)] > [信頼要素の挿入 (Insert Trust Element)] の順に選択します。
- [Intercompany Media Service の信頼要素の設定の挿入 (Insert Intercompany Media Services Trust Element Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] フィールドで、このバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。
- ステップ 3** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
- デフォルトの説明は、「IME 信頼要素の挿入」です。
- ステップ 4** Cisco IME 信頼要素の挿入レコードを即座に挿入するには、[今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックします。レコードを後で挿入するには、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。
- ステップ 5** Unified IME 信頼要素レコードを挿入するジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。
- ステップ 6** このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。
- ジョブの詳細については、[第 79 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。
- ログ ファイルの詳細については、「[BAT ログ ファイル](#)」(P.80-3) を参照してください。

### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.66-2) を参照してください。

## 関連項目

- 「BAT スプレッドシートをデータ収集に使用する方法」(P.1-9)
- 「IME 信頼要素設定用のテキストベース CSV ファイルの作成」(P.A-27)
- 「CSV データ ファイルの処理」(P.1-5)
- 「IME 信頼要素の設定の削除」(P.67-1)